

(様式7) 日本工業規格A4 (縦)

質 疑 応 答 書		
件 名 平成29年度 浜松医療センター新病院整備事業施工予定者選定プロポーザル		
事業者名		
メールアドレス		
提出日 平成29年 11月 17日		回答日 平成29年12月6日
項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(新棟 構造)	
S-02	S 造範囲のコンクリート強度について、特記通り、Fc42N/mm ² スランプ 21cm と考えてよろしいですか。	2~4 階の S 造部分の床スラブと立上り壁は Fc21、S=18cm、普通セメント、AE 減水剤入り、とする。
S-02	擁壁 FW200 に取り付く片持ち床のコンクリート強度について、擁壁 FW35 に倣い Fc24N/mm ² スランプ 18cm と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-02 S-23	マスコンクリートの適用範囲について、リニアックの厚壁厚床と記載ありますが、床 S140 と取合う柱・梁についてもマスコンクリートと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-20 S-33	基礎 F13 について、リストはありますが、伏図に記載が無い為、不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-20	基礎伏図の K 通り上と 1 通り上にある基礎梁 FB11・FG11 について、リストをご指示下さい。	FB11 を FB1A、FG11 を FG1A と読み替えてください。
—	人通孔について、補強要領をご指示下さい。	S-12 図で想定してください。

項目	質疑事項	回答事項
A-32	【参考図】標準詳細図 2(外部・免震ピット)D2-3 地下水槽の釜場について、位置をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください。
S-34	擁壁断面リストの FW200 について、擁壁下部にある床(H2000)の側面に横筋が必要な場合は配筋をご指示下さい。	FW200 横筋と同配筋とします。
S-34 A-28	矩計図 1 A-A' 矩計図の A 通り外側にある底盤下地業について S-34 図 砕石 t60 A-28 図 砕石 t100 と相違しています。S-34 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-19	P1・P1A の杭本数について S-19 図杭伏図 P1-216 本 P1A-62 本 S-19 図杭リスト P1-214 本 P1A-44 本 と相違しています。杭伏図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-31 S-07 S-21～ 32	構造スリットの使用について、構造スリット使用か所は構造図に依るとありますが、構造図に記載がありません。今回工事では構造スリットは不要と考えてよろしいですか。	全面壁は柱際と床上に、腰壁と垂れ壁は柱際に、方立て壁は床上に、それぞれ構造スリットを設ける計画です。ただしリニアックの厚壁には設けません。
—	上記質疑について、構造スリットが必要な場合、範囲図をご指示下さい。	断面図や矩計図を基に想定してください。
S-23 S-53	1階1通り/A～B通り間のリニアック部壁について、W130 の配筋が不明です。リストをご指示下さい。	W140 と同配筋とします。
S-53	壁符号 W18 について、開口補強筋が不明です。補強要領をご指示下さい。	S-06 図 7.3(2)のうち、AB 共 2-D13、CD 共 6-D10、とします。

項目	質疑事項	回答事項
S-40	免震部材基礎 MF10 について、詳細が不明です。ご指示下さい。	MF8 上部基礎と同配筋とします。
A-23 A-28 A-29	免震ピット階 1 通り/A~K 通り間・K 通り/1~14 通り間の RC 立上りについて、厚さ・配筋が不明です。リストをご指示ください。	W15 です。
A-23 S-21	免震ピット階 A 通り/3~4 通り間の壁形状について A-23 図 ドライエリア形状 S-21 図 ドライエリア無し と相違しています。A-23 図を正と考えてよろしいですか。	A-23 図の位置にドライエリアは設けますが、その周囲の擁壁は FW200 とし、角部に杭 P2A が 1 本ずつ計 2 本あるものと考えてください。
S-02 S-40	柱 C10 のコンクリート仕様について、免震層から 2 階免震層まで立ち上がる為、免震立上り基礎と同強度と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-22 A-23	オイルダンパーの台数について S-22 図 40 台 A-23 図 41 台 と相違しています。S-22 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-22 A-23	鋼材ダンパーの台数について S-22 図 18 台 A-23 図 12 台 と相違しています。S-22 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-32 S-45	鉄骨柱 SC11 について、軸組図に図示がありますが、リストが不明です。ご指示下さい。	SC2 と読み替えてください。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
S-02	<p>柱梁接合部の定着方法について、プレート定着の適用範囲は下記と考えてよろしいですか。</p> <p>柱 - 柱頭部(最上階) 梁 - 大梁主筋全て (最上階上端 1 段筋・小梁を除く)</p>	<p>貴見のとおり。</p>
S-30 S-41	<p>柱について、S-30 図と S-41 図とで有無が相違しています。S-30 図を正と考えてよろしいですか。</p> <p>例 R2 階 7～9 通り間・A～B 通り間 S-30 図 柱有り S-41 図 柱無し</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>上記質疑について、R2・HP 階の柱リストは R1 階に倣うと考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>梁貫通補強施工か所数について、下記項目毎にご指示下さい。</p> <p>梁(基礎梁・RC 梁・SRC 梁・S 梁) 床 壁</p>	<p>実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください。</p>
S-12	<p>RC 梁用貫通孔既製品補強について、組数は下記と考えてよろしいですか。</p> <p>基礎梁 - 6 枚組 RC 梁 - 4 枚組 SRC 梁 - 2 枚組</p>	<p>実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください。</p>
S-24 S-29	<p>梁符号について、下記の様に読み替えると考えてよろしいですか。</p> <p>2階 4～7 通り間/B～C 通り間 B65 b65 7階 13～14 通り間/D 通り 3B B3</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
S-46 ~ 47 S-49 ~ 50	5階～R1階大梁 B1H・G1H について、ハッチ長さは L1000 と考えてよろしいですか。	L=1500 (1/6 勾配) とします。
S-49	5 階大梁 G13 について、スターラップ [®] は 2-D13@150 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-23 ~ 26 S-28 S-30	梁について、下記符号のリストがありません、ご指示下さい。 1 階 2～3 通り間/B 通り B2 2 階 1 通り/A～B 通り間 G3A 2 階 1 通り/E～F 通り間 G4A 2 階 9～10 通り間/F 通り B21A 3 階 13～14 通り間/C 通り B3C 4 階 1～2 通り間/A～E 通り間 CB12 4 階 1～2・21～22 通り間/F 通り CB21 6 階 11～12 通り間/B～C 通り間 B60(小梁) R2 階 9～10 通り間/C～D 通り間 CB11 HP 階・ELV 階 B1・B2・G3	下記の通り読み替えてください。 B2 B1 G3A G3 G4A G4 B21A B21 B3C B3 CB12 3階 CB12 CB21 3階 CB21 B60 b65 CB11 R2 階 B1 それぞれ R2 階の B1・B2・G3
S-49	1 階大梁 G1A の上下主筋本数について S-49 図(断面) 27-D35 S-49 図(リスト) 18-D35 と相違しています。S-49 図(断面)を正と 考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-49	2 階～4 階大梁 G13 について、鉄骨ブラケット長さは G4 に倣い L2700 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-17 A-29	リアックについて、垂直方向の遮蔽鉄板の 厚み及び水平・垂直方向遮蔽鉄板部の鉄 筋納まりをご指示下さい。	遮蔽鉄板厚みや納まりについては医療 機器決定後に実施設計で確定しま すが、垂直(壁) 450mm程度、水平(天 井、床) 600mm程度を見込み、鉄筋 は通常の定着と想定してください。

項目	質疑事項	回答事項
A-29 S-23	<p>リアックの梁(1階 1~2 通り間/B~D 通り間)の有無について</p> <p>A-29 図 有り</p> <p>S-23 図 無し</p> <p>と相違しています。A-29 図を正とし G1 を見込むと考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-17 A-29	<p>矩計図 2 C 部 矩計図の 1 階マシハッチ下部に擁壁からの片持ち床の図示がありますが、該当範囲は 20~23 通り間/A 通り下のマシハッチ下部と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>上記質疑が正の場合、片持ち床符号は CS15 と考えてよろしいですか。</p>	<p>鉄骨量 200kg/m²の架台と想定してください。</p>
S-24 ~26 S-53	<p>スラブ形状について、スラブリストに普通型枠・捨て型枠の記載がありますが、2~4 階梁伏図の F 通り上(2・3 階 21~23 通り間は E 通り上)の S 符号は捨て型枠、その他(外周 CS 符号含む)は普通型枠と考えてよろしいですか。</p>	<p>外部、見え掛かり、リアック周り、および水槽上部は普通型枠とし、その他は捨て型枠としてください。</p>
A-28 A-29	<p>2~4 階外周片持ち床について、先端部 PC 垂れ壁が取り付く片持ち床は在来床と考えてよろしいですか。</p>	<p>床も PC 版にて計画しています。</p>
S-07	<p>スラブの出隅及び入隅部、片持ちスラブ入隅部の補強筋について、斜め補強と直行補強の 2 つ記載がありますが、すべて直行補強と考えてよろしいですか。</p>	<p>斜め補強、直行補強どちらでも結構です。</p>
S-38 ~39	<p>免震部材について、装置高さが不明です。符号別に高さをご指示下さい。</p>	<p>詳細は型番からカタログ等を参照してください。</p>

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
S-38	積層ゴム用フランジプレートの材質は SM490A とありますが、アンカープレートの材質が不明です。SS400 と考えてよろしいですか。	フランジプレート同材と考えてください。
	(上空連絡通路 構造)	
S-54	柱脚部保護コンクリートについて、下記と考えてよろしいですか。 断面 950x950 高さ H300(基礎天端～GL) 主筋 16-D13 帯筋 D10@100	下記と考えて下さい。 断面 OK 高さ OK 主筋 20-D10 帯筋 D16@100
S-54	コンクリートの仕様について、Fc21N/mm ² スラブ 18cm と考えてよろしいですか。	床スラブは貴見のとおり。 柱脚と基礎は基礎梁に準じた仕様としてください。
S-54	上空連絡通路の3階床のスラブ形状について、床符号 S11 はフラットデッキと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
—	上記質疑が正の場合、下記をご指示下さい。 ・フラットデッキ仕様 ・スタッドボルト仕様・要領 ・コンクリート止め仕様	本体に準じた仕様としてください。
	(新棟 外部仕上)	
A-21 A-22 A-31	塔屋屋根の防水について、下記場所の防水が不明です。【参考図】標準詳細図1(外部)D1-2 露出アスファルト防水内断熱工法 D-1 と考えてよろしいですか。 ・HPF 7～8・A～B 間 ・RF2F 7～9・A～B 間 ・6F 16～17・D～E 間	標準詳細図1のD1-1とします。

項目	質疑事項	回答事項
A-02 A-31	屋根 断熱アスファルト防水立上りについて A-02 図 乾式保護材 押出成形セメント板 A-31 図 乾式保護材無し と相違しています。A-31 図を正と考えて よろしいですか。	貴見のとおり。
A-31	【参考図】標準詳細図 1(外部)D1-7 屋上 機械基礎について、寸法及びか所数をご 指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模 程度の事例から想定してください。
A-21 A-22 A-28	屋上 ECP 目隠しについて、下記項目をご 指示下さい。 ・頂部笠木の仕様 ・下端見切金物の仕様 ・目隠し壁裏側の仕上 ・出隅(曲面)の納まり詳細	頂部笠木・下端見切金物とも既製品ア ルミ製、目隠し壁裏側は撥水剤程度、 出隅の納まりは AL パネル 3 mm とし ます。
A-28	2～4F バルコニー垂壁 ホトコンクリート PCa 板に ついて、PCa 板は垂壁部分のみとし、床 は在来工法と考えてよろしいですか。	床も PC 版にて計画しています。
A-28	上記質疑について、床が在来工法の場合、床 RC と垂壁 PCa の取合詳細をご指示下さい。	
A-28	上記 PCa 板について、平面割付が不明で す。@2000 程度と考えてよろしいです か。	貴見のとおり。
A-28	上記 PCa 板について、取付金物詳細をご 指示下さい。	実施設計にて確定しますので、メーカ ー仕様等から想定してください。
A-28	バルコニー軒天井 給排気用スリットについて、 施工範囲及び詳細をご指示下さい。	A-32 の D2-12 を参照してくださ い。開口寸法については、実施設計に て確定します。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-05	<p>建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 22.ルーフドレイン(75・150)の施工箇所について、最大雨量 180mm/H としして適宜設置と記載ありますが、今回建物の雨水排水計画図をご指示下さい。</p>	<p>実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください。</p>
A-42	<p>【参考図】標準詳細図 12(内部 10)D12-2 煙突詳細 断面図に記載ある開口塞ぎプレート(金物工事)について、仕様・厚み・表面仕上をご指示下さい。</p>	<p>仕様等参考とするための他物件の詳細図のため、同程度の事例から今回計画に適した詳細、仕様を想定してください。</p>
A-02 A-35	<p>定礎の厚み・寸法・裏箱の仕様について A-02 図 t30 500×300 裏箱:SUS A-35 図 t50 650×500 裏箱 銅板 と相違しています。A-35 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-50 A-31	<p>1F 20～23-A 通りマシンハッチの寸法について A-31 図 W3360×D1460 A-50 図 W18000×D3600 程度 と相違しています。A-50 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-17 A-31	<p>1F 3～4-A 通りマシンハッチの寸法について A-17 図 W3500×D3500 程度 A-31 図 W3360×D1460 と相違しています。A-17 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-32	<p>【参考図】標準詳細図 2(外部・免震ピット)D2-13 He ガス排気安全柵について、か所数をご指示下さい。</p>	<p>MRI 室数の 3 箇所とする。</p>

項目	質疑事項	回答事項
A-32 A-58	3Fリハビリ庭園のベンチ(計5か所)について、 【参考図】標準詳細図 2(外部・免震ピット)D2-14 にて着脱式天板と園芸道具収納の使い分けがあります。振り分けをご指示下さい。	園芸道具収納は該当無しとします。
A-31	【参考図】標準詳細図 1(外部) D1-10 屋上設備点検架台詳細について、施工範囲をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から、メンテナンス性を考慮して必要箇所を想定してください。
A-31	上記質疑について、架台下基礎の寸法・か所数をご指示下さい。	
A-31	【参考図】標準詳細図 1(外部) D1-16 トラップ 詳細について、施工位置・高さ寸法をご指示下さい。	6 F、RF、RF2 の塔屋や屋上が該当します。高さは立面、断面図等から想定してください。
A-31	【参考図】標準詳細図 1(外部) D1-17 フェンス(既製品)の使用箇所が MRI He 排気(2FL)と記載ありますが、図示が無い為、施工範囲及び扉のか所数が不明です、ご指示下さい。	MRI 室と同数の3箇所です。範囲については同規模程度の事例から想定してください。
A-20	4F 屋上 17～20 通り吹抜廻りについて、手摺が必要と思われます。仕様・メンバー詳細をご指示下さい。	デッキテラス廻りの倍のスペースを設置範囲として溶融亜鉛メッキ処理のH1300mmのスチール製手すりとします。
	(新棟 内部仕上)	
A-17 ～19	1～3F 北側円柱の仕上・下地及び耐火被覆の仕様について、各室壁仕上+FGボード t6+6+LGS 下地、耐火被覆ロックール吹付と考えてよろしいですか。	耐火塗料、又は耐火シートとします。

項目	質疑事項	回答事項
A-03	<p>建築工事特記仕様書 2 14 章金属工事 7. 軽量鉄骨壁下地について、層間変位等によるきしみ音対策有りとなりますが、施工範囲・仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>吹抜部まわりの内壁が該当します。仕様は実施設計にて確定します。</p>
A-33	<p>間仕切凡例 HS1 他 WC 及び SK 等、水廻り関連室の室内に面する壁について、耐水石膏ボード t9.5 増貼とありますが、一般軽鉄間仕切は表面石膏ボードを耐水石膏ボードに読み替えと考えてよろしいですか。</p>	<p>PB12.5 の上に 9.5 耐水を増貼とします。</p>
<p>A-13 A-14 A-33</p>	<p>WC 及び SK 等、水廻り関連室の室内に面する壁 耐水石膏ボードの厚みについて A-13・14 図 不燃耐水石膏ボード t12.5 A-33 図 耐水石膏ボード t9.5 と相違しています。A-13・14 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
<p>A-01 A-09</p>	<p>カーテンの工事区分について A-01 図 建築工事 A-09 図 別途工事 と相違しています。A-09 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
<p>A-01 A-09</p>	<p>カーテンレールの工事区分について A-01 図 別途工事 A-09 図 建築工事 と相違しています。A-09 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-46 A-47	1F コミュニティホール・図書室 本棚について、仕様・高さ寸法・詳細をご指示下さい。	H2100mm、スギ材とします。
A-52	2F 化学療法 SS 後方壁開口四方枠について、高さ寸法が不明です。H900 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-51	2F 自己採血 目隠しスクリーンについて、仕様・詳細・高さ寸法をご指示下さい。	H1000mmの木製家具の上部に H300mmの強化ガラス T5 の構成です。詳細は実施設計にて確定します。
A-52	2F 化学療法室 ローパーテーション H1200 について、程度をご指示下さい。	上記、自己採血と同程度の仕様とします。
A-58	3F 理学療法スタッフコーナー ローパーテーション H1000 について、程度をご指示下さい。	両側から使用する収納家具とし、その上部がカウンターの形状を計画しています。
A-35	【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-16 三方枠・一方枠について、ステンレス枠・木枠の施工場所が不明です、ご指示下さい。	WC,厨房等の水廻りは SUS、食堂、プレイルーム等の患者スペースは木製、その他は St 製で想定し見込むこと。
A-35	【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-18 消火器ボックスについて、か所数をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください
A-36	【参考図】標準詳細図 6(内部 4)D6-12 天井点検口について、2400 か所見込むことと記載ありますが、目地・額縁タイプ及びエアタイト型(クリーンルーム用)の振り分けか所数をご指示下さい。	各モール、待合、患者廊下等の共用部は目地タイプ、クリーン度が必要なエリアはアタイト型、その他は額縁タイプとします。
A-37	【参考図】標準詳細図 7(内部 5)D7-2 総合受付カウンター 甲板 天然石について、程度をご指示下さい。	花崗岩 (JB 仕上)、各窓口に杖立て加工とします。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-34	<p>【参考図】標準詳細図 4(内部 2) D4-35 化粧マンホール(600×600)の施工位置について、取付か所は平面詳細図によると記載ありますが図示ありません。不要と考えてよろしいですか。</p>	<p>仕様等参考とするための他物件の詳細図のため、同規模程度の事例から機能性、意匠性に配慮して想定してください。</p>
—	<p>上記質疑について、必要な場合、施工位置・か所数をご指示下さい。</p>	
A-38 A-58	<p>平面詳細図 13(3階-3) 外来WC4 洗面台(L1400)の詳細について、A-38 図 D8-12 手洗カウンター詳細に記載ある A タイプと考えるとよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-27	<p>地下ピット(水槽)について、下記項目が必要と考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人通口 – VU 管 600 1 か所/スパン ・通気管 – VP 管 100 人通口 1 か所に対し 2 か所 ・連通管 – VP 管 200 半割 人通口 1 か所に対し 2 か所 	<p>貴見のとおり。</p>
A-61	<p>平面詳細図 16(4 階-2) 1 床室(MFICU) 窓台の仕様・厚みについて、メラミンフォーム t30 と考えるとよろしいですか。</p>	<p>米母、クリア塗装程度とします。</p>
A-67	<p>病室詳細図 各病室 マグネットボードについて、仕様・寸法・詳細をご指示下さい。</p>	<p>500 角程度、鋼板 3mm+ダイノックシート張とします。</p>
A-43	<p>【参考図】標準詳細図 13(内部 11) D13-1・D13-4 US 及び UST 用木枠について、樹種をご指示下さい。</p>	<p>米母程度とします。</p>

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-67	病室詳細図 各病室ベッド上部について、ウォールゲアユニット(L1550 程度)の様な図示がありますが、仕様・詳細が不明です、ご指示下さい。	形状は基本設計病室パースを参考とし、強化P B+化粧合板 3mm (アイカセラール程度) と想定してください。
A-40 A-67	【参考図】標準詳細図 10(内部 8) 各ワードローブ 詳細について、OVS(医療用パネル)が併設されておりますが、病室詳細図に記載が無い為、ワードローブのみと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-40 A-67	下記収納の詳細について、【参考図】標準詳細図 10(内部 8)に記載ある病室のワードローブ 詳細・収納詳細と病室詳細図とで名称・寸法が一致しません。それぞれの仕様・高さ寸法・詳細をご指示下さい。 ・4 床室 床頭台上部ワードローブ ・4 床室 洗面(LK)横収納棚(2 連) ・1 床室 収納棚(W1300×D300 程度) ・1 床室 収納棚+ワードローブ	<ul style="list-style-type: none"> ・4 床室 床頭台上部ワードローブ 1 床室 A タイプの H800 上部分の棚とし、下部はオープンとします。 ・4 床室 洗面(LK)横収納棚(2 連) → 4 床室 収納 ・1 床室 収納棚(W1300×D300 程度) → 1 床室 A タイプの型式で幅は平面図寸法 ・1 床室 収納棚+ワードローブ → 1 床室 B タイプ
A-68	手術室詳細図 1(仕様・工事区分) 仕様書の建築工事欄に記載ある無影灯アンカーベース及びシーリングペンダントアンカーベース(圧延鋼板 t6)の寸法をご指示下さい。	医療機器決定後の判断となりますが、現段階では標準詳細図 6 の D6 16 を参考として想定してください。
A-70	手術室詳細図 3(空調図参考) 工事区分で建築工事欄に○印のある屋外機器類の基礎及び共通鉄骨架台工事について、施工位置・詳細をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、位置は RF 屋上、詳細については同規模程度の事例から機能性を考慮して想定してください。
A-70	手術室詳細図 3(空調図参考) 工事区分で建築工事欄に○印のある 25.器具取付用の天井・壁下地補強工事について、寸法・詳細をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から機能性を考慮して想定してください。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-05	<p>建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 24.マンホールふたの施工箇所について、各種地下水槽に適宜設置と記載ありますが、か所数をご指示下さい。</p>	<p>実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から機能性を考慮して想定してください。</p>
A-05	<p>建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 19.視覚障害者用誘導床材について、施工か所欄にハートビル法に基づき、外部、1・2 階入口、各階段に設置と記載ありますが、配置プランをご指示下さい。</p>	<p>入り口から最寄りの受付までの経路、各階段踊り場等が基本となりますが、実施設計にて確定しますので、ハートビル法に基づき設置位置を想定してください。</p>
A-05 A-09	<p>建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 11.ブライントの工事区分は A-09 図 工事区分表より別途工事と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>上記質疑について、建築工事の場合、程度及び具体的な設置場所をご指示下さい。</p>	
A-05 A-09	<p>建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 12.ロールスクリーンの工事区分は A-09 図 工事区分表より別途工事と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>上記質疑について、建築工事の場合、程度及び具体的な設置場所をご指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(新棟 建具)	
A-71 ～81	<p>下記建具について、建具表より下記と考 えてよろしいですか。</p> <p>1F 19～20-C～D 通り 助産指導室 LSD-K01 LSD-K01a</p> <p>1F 10～11-A～B 通り 更衣室 LSD-K12a LSD-K12</p> <p>1F 5～6-D～E 通り 更衣室 1・2 LSD-K12a 2 か所 LSD-K12 2 か所</p> <p>1F 2～3-D～E 通り 更衣室 1 LSD-K12a LSD-K12</p> <p>1F 2～4-H～J 通り 相談 1～10 STWD-101 5 か所 STWD-101 1 か所 STWD-102 5 か所 STWD-102 1 か所</p> <p>2F 4～5-A～B 通り ES SD-K03b SD-K01</p> <p>2F 1～2-F～G 通り HWC LSD-K08 LSD-K08a</p> <p>2F 11～12-B～C 通り MRI 室 2 窓 SWH204</p> <p>2F 16～17-C～D 通り 廊下 SDB-201 SDB202</p> <p>2F 19～20-B 通り HWC LSD-K08 LSD-K08a</p> <p>2F 16～17-H 通り 更衣 LSD-K12a LSD-K12</p> <p>2F 20～21-F～G 通り HWC LSD-K08 LSD-K08a</p> <p>2F 10～11-B～C 通り 歯科撮影室 LSDH-213 2 か所 LSDH-213 1 か所</p> <p>3F 7～8-E 通り EPS SD-K02a SD-K02</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	3F 9～10-B～C 通り 検体処理室 LSD-305 LSD-306 3F 16～17-A 通り 病室 1 AW-302a 2 箇所 AW-302 2 箇所 4F 8～9-B～C 通り 掃除具 LSD-B210 LSD-B21 4F 3～4-D～E 通り 器材 LSD-B08a LSD-B08 4F 8～9-E～F 通り 前室 LSWD-B02b LSWD-B02 4F 11～12-C～D 通り 調乳・沐浴 LSD-B08b LSD-B08	
A-71 A-77	STDW-104～107 の建具符号について、 建具キープランより STWD-104～107 と考 えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-72 A-81	AW-203b の建具符号について、建具キープ ランより AW-203 と考えてよろしいです か。	貴見のとおり。
A-71 ～76 A-81	下記建具の員数について、建具表と建具 キープランで相違しています。建具キープランを 正と考えてよろしいですか。 (建具表) (建具キープラン) AW-104 1 箇所 3 箇所 AW-202 1 箇所 2 箇所 AW-B01a 9 箇所 45 箇所 AW-B01b 3 箇所 12 箇所 AW-B02a 9 箇所 38 箇所 AW-B02b 3 箇所 12 箇所 AW-B02c 3 箇所 13 箇所 AW-B02d 1 箇所 2 箇所 AW-B02e 1 箇所 2 箇所 AW-B03a 6 箇所 21 箇所	貴見のとおり。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	AW-B03b 4 か所 14 か所 AW-B03c 4 か所 14 か所 AW-B04a 1 か所 3 か所 AW-B05 4 か所 16 か所 AW-B06 2 か所 4 か所 AW-B07 1 か所 5 か所 AW-B08 2 か所 7 か所 AW-B09 2 か所 10 か所 AW-B10 2 か所 7 か所 AW-B11 2 か所 8 か所 AW-B12 2 か所 7 か所 AW-B13 1 か所 6 か所 AW-B14 2 か所 4 か所 AW-B15 2 か所 8 か所 AW-B27 2 か所 4 か所 AG-B01 3 か所 7 か所	
A-71	1F 6～7-D 通り 準備室～処置室間の窓について、建具符号がありません。下記と考えるとよろしいですか。 スチール 嵌殺し窓 W500×H800 SOP 塗装 フロートt6+フィルム	貴見のとおり。
A-73 法-3	3F 6～7-E 通り 前室2の開口について、法チェックシート3にSSの記載があります。下記と考えるとよろしいですか。 スチール シャッター W1500×H2000 スラット:焼付塗装 電動式 特定防火設備	貴見のとおり。
A-74	4F 7～9-F 通り AW-B04b について、建具表がありません。W14000×H2000 とし、仕様は AW-B04a に倣うと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
A-74	4F 20～21-F 通り AW-B01c について、建具表がありません。W4500×H2000とし、仕様は AW-B01a に倣うと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-75	5F 18～19-B～E 通り TP-R01 について、建具表がありません。下記と考えてよろしいですか。 アルミ トップライト W1500×D1500 電解二次着色 LOW-Et6+A6+FL6	貴見のとおり。
A-75	5F 9～10-D～E 通り 排煙トップライトについて、建具表がありません。下記と考えてよろしいですか。 アルミ トップライト W1500×D2500 電解二次着色 LOW-Et6+A6+FL6	貴見のとおり。
A-71 A-77	SUSD-101 の W 寸法について、建具表に記載がありません。建具キプラン 1 より下記と考えてよろしいですか。 外部 L20000(1500+17000+1500) 内部 L10500(3500+7000)	貴見のとおり。
A-77	SD-K14a・306、LSD-111 について、ガラスの記載ありますが、姿図より不要と考えてよろしいですか。	ガラス小窓を設置します、また特定防火設備のため SD-K14a は FT5 とします。
A-77	SD-K14a・K14b について、材質に軽量スチールとありますが、建具符号よりスチールと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
	上記質疑について、スチールの場合、仕上は SOP 塗装と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
A-71 A-77	STWD-103のW寸法について A-71図 W27500 A-77図 W3200 と相違しています。A-71図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-78	LSD-K05d・K17について、ガラスの記載がありません。フロートガラス t5+フィルム張と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-80	SW-B04～B07 合わせガラス t5+5 について、仕様が不明です。フロートt5+フロートt5と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-81	AW-104の開き勝手及びH寸法について A-24図 2連嵌殺し窓 H3500 A-81図 嵌殺、突出窓 H2600 と相違しています。A-24図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-81	AW-105のH寸法について A-24図 H3500 A-81図 H2600 と相違しています。A-24図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-81	AW-202の開き勝手及びH寸法について A-24図 2連嵌殺し窓 H3500 A-81図 嵌殺、突出窓 H2800 と相違しています。A-24図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-24 A-81	AW-203b の H 寸法について A-24 図 H3500 A-81 図 H2800 と相違しています。A-24 図を正と考えて よろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-81	AW-210 の W 寸法について A-24 図 W2800 A-81 図 W4800 と相違しています。A-24 図を正と考えて よろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-74 A-81	AW-B02e について、W2000×H2000 と 記載ありますが、立面図及び建具キープラン より間に柱が入る為、W1000×H2000 を 2 か所と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-81	AW-B04a の W 寸法について A-24 図 W14000 A-81 図 W19000 と相違しています。A-24 図を正と考えて よろしいですか。	貴見のとおり。
A-81 A-82	AW-310a・310b の姿図について、建具姿 図の符号を下記の様に変更すると考 えてよろしいですか。 AW-312a AW-310a AW-312b AW-310b	貴見のとおり。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	<p>上記質疑より寸法について</p> <p>A-81 図 AW-310a W17000 × H2600 AW-310b W17000 × H2600</p> <p>A-82 図 AW-301a W17600 × H2300 AW-310b W16950 × H2300</p> <p>と相違しています。A-82 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
<p>A-73 A-82</p>	<p>3F 16～17-D～E 通り 光庭 2 AW-313 について、建具表がありません。姿図より下記と考えてよろしいですか。</p> <p>アルミ 連窓 L9000 × H2300 電解二次着色 枠見込 70 バックボート化粧ケガレ板 t8</p>	<p>貴見のとおり。</p>
<p>A-81 A-82</p>	<p>下記建具の寸法について、建具表と姿図で相違しています。建具姿図を正と考えてよろしいですか。</p> <p>(建具表) (建具姿図)</p> <p>AW-B08 W18500 × H2000 5～7F W20100 × H1700 以外 W20100 × H1500</p> <p>AW-B09 W6500 × H2000 5～7F W6200 × H1700 以外 W6200 × H1500</p> <p>AW-B10 W3500 × H2000 5～7F W2330 × H1700 以外 W2330 × H1500</p> <p>AW-B11 W2000 × H2000 5～7F W5450 × H1700 以外 W5450 × H1500</p> <p>AW-B12 W12800 × H2000 5～7F W12300 × H1700 以外 W12300 × H1500</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	<p>AW-B13 W4000 × H2000 5～7F W3400 × H1700 以外 W3400 × H1500</p> <p>AW-B14 W3600 × H2000 5～7F W2500 × H1700 以外 W2500 × H1500</p> <p>AW-B15 W2400 × H2000 5～7F W2700 × H1700 以外 W2700 × H1500</p> <p>AW-B16 W6000 × H2000 W5800 × H1700</p> <p>AW-B17 W6000 × H2000 W7700 × H1700</p> <p>AW-B19 W7500 × H2000 W6500 × H1700</p> <p>AW-B20 W6500 × H2000 W5810 × H1700</p> <p>AW-B21 W1300 × H2000 W11700 × H1700</p> <p>AW-B22 W20000 × H2000 W22200 × H1700</p> <p>AW-B26 W7000 × H2000 W6900 × H1700</p> <p>AW-B27 W7000 × H2000 W1400 × H1700</p> <p>AG-B01 W2000 × H2000 W2300 × H1700</p> <p>AG-B02 W2500 × H2000 W2300 × H1700</p>	

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-71 ～76 法-1 ～法-5	<p>下記建具の性能について、建具表と法チェックシートで相違しています。法チェックシートを正と考えてよろしいですか。</p> <p>(建具表) (法チェックシート)</p> <p>SD-K02 特定防火設備 性能無し 10 か所 特定防火設備 14 か所</p> <p>SD-K05 性能無し 性能無し 22 か所 特定防火設備 1 か所</p> <p>SD-K14a 特定防火設備 性能無し SD-K14b 特定防火設備 性能無し</p> <p>SD-105 特定防火設備 性能無し 2 か所 特定防火設備 3 か所</p> <p>SD-1106 特定防火設備 性能無し 1 か所 特定防火設備 1 か所</p> <p>SS-108 特定防火設備 性能無し STWD-105 性能無し 特定防火設備 STWD-106 性能無し 特定防火設備 STWD-107 性能無し 特定防火設備 SUSD-206c 性能無し 特定防火設備 SD-202 特定防火設備 性能無し SUSD-303 性能無し 性能無し 1 か所 特定防火設備 1 か所 SUSD-306 性能無し 性能無し 1 か所 特定防火設備 1 か所 LSD-B13 性能無し 性能無し 8 か所 特定防火設備 3 か所 LSDW-B01a 性能無し 性能無し 9 か所 特定防火設備 1 か所 LSDW-B01b 性能無し 性能無し 5 か所 特定防火設備 2 か所</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
基本設計 E-2	3-1 受変電設備にて、別途エネルギーサービス工事と記載が有り、「別途」と記載がありますが、引込・受変電・発電機・直流電源・電力監視は別途工事と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。 なお、無停電電源設備も別途工事（エネルギーサービス工事とも別途）とします。
基本設計 E-10	3号館改修について、改修図が御座いません。建築・電気・機械設備等全て別途と考えてよろしいですか。	今回の提案対象としては別途です。 ただし、工事契約については同一工事とします。
	以上	